

トルコ 今年のリンゴ出荷シーズンの見通し

FreshPlaza 2023年8月14日

青果物輸出業者エンギンタリム社の販売責任者であるアルプ・エレン・ヤブラク氏は、今年のリンゴ出荷シーズンは難しくなる可能性があると言う。出荷量は前年と同程度と予想される。同氏は、「トルコのリンゴの総収穫量は平均的で、昨シーズンとほぼ同程度のものである。一方、春以降の頻繁な悪天候は、全般的な品質に悪影響を及ぼした。このため、高品質の、特に輸出品質のリンゴの入手可能性が大幅に低下した。春の頻繁で厳しい降霜と7月中旬まで見られた異常な降雹が主な原因であった」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

保護ネットのおかげで、同社の果樹園はほとんど被害を免れたが、それでも一部、低品質のリンゴに対処しなければならないとヤブラク氏は説明する。「弊社の果樹園もこれらの悪天候の影響を受けるが、防雹ネットですべてカバーし、霜に対しては送風機と高圧スプリンクラーシステムで80%カバーすることで守られ、他の生産者と比較して良い状態に保てる。しかし、ほぼ全面的に保護対策を講じているにもかかわらず、我々も影響を受けている。収穫時期直前の今の暑い気象条件は果樹が対応できる以上のものであるため、まだ安心できる状況ではない。地中海沿岸のすべての地域でこのような天候が続く場合、リンゴが通常あるべきサイズより小さくなくても驚くに値しない。」

このトルコの輸出業者は、近い将来最も人気のある品種を生産できると約束している。これは、研究を行い、新しい品種を確実に植えることを意味する。「特に過去2年間、弊社は市場の需要、味、風味、棚持ち、さらに我々の環境に適しているかという点について、将来の品種を研究するために多くの時間を費やした。弊社は世界のトップレベルの育種会社と連携し、近い将来市場を支配すると思われるクラブ品種に参加し、慎重に選択を行っている。弊社はすでにこれらのうちのいくつか、5つ以上、の新しい品種を植えており、将来及びすべての市場に備えて果樹園の新植と改植を続ける。これにより、グローバルな競争で強力な優位性を獲得し、常にトレンドを先取りする贅沢を取引先に提供する。」

同社はインドの市場に主に焦点を当ててきているが、このトルコの輸出業者にとって他のアジア諸国も重要である。「インドではレッドデリシャスの需要が急増しており、弊社の最強の市場である。湾岸諸国は、地理的に近いという利点があり2番目の市場である。東南アジアはこれらに次ぐが、トルコが議定書を交わしているASEAN諸国の数は非常に限られている。ベトナム、インドネシア、フィリピン等の成長市場は、トルコのリンゴ輸出にはまだ利用できない。最後になったが、弊社にとっての新星はアフリカで、ケニアを中心に展開している。弊社のグローバルなアボカド事業のおかげでケニアの事務所内に強力な物流・販売チームがあり、アフリカへの輸出と販売を毎シーズン2倍以上に増やしている。今後のアフリカ市場に大変期待している。」

ヤブラク氏は、トルコの出荷シーズンはまだ初期段階にあるため、同社の最も人気のある品種がどれもまだ手配できず、現在は需要に追い付いていないと強調する。「出荷シーズンが非常に早く始まり、特にインドからの引き合いが非常に強い。これには主な理由がいくつかある。1つ目は、特にレッドデリシャス、グラニースミス、ゴールドンデリシャス等の主要品種で、高品質のリンゴが入手できないことである。第2の理由は、輸出市場での過去5～10年間のトルコ産リンゴの好調な業績である。しかし、これらの実績のある市場での拡大に加えて、参入したい新しい市場もたくさんある。ベトナム、台湾、フィリピン、インドネシアなどの地域はよく知っているため、これらの新しい市場のいくつかで主導権を握ることができることを期待している。コロンビアは昨年トルコに門戸を開き、十分に注力すれば、今後数年で中米で成長できると思う。」

「今年は非常に難しいシーズンになると予想している。シーズンに影響を与える多くの強力な外的要因がある。世界的な景気後退は現実のものであり、我々は昨年からそれを強く感じている。人々はお金をより一層注意深く使い、食べるものも非常に選択的になっている。もう一つの課題は気候であり、その問題はより深刻になっている。我々は、より良くより強力な気候変動対策がとられることを望んでいる。すべての農業経営者と生産従事者はその生計が気候に依存しているため、気候に関してこれまで以上に大声で叫ぶべきだと思う。」

執筆者: ニック・ピーターズ